

令和7年度 学校経営計画

学校名	石川県立金沢伏見高等学校
校長	桶川 政江

1 教育目標

誠実、聡明で品位があり、論理的な思考力や創造力を身に付けた、社会に貢献できる心豊かな人間の育成をめざす。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 生徒の進路志望が多様である状況をふまえ、生徒一人ひとりの学力の向上、進路指導の充実に取り組んでいる。普通科高校として国公立大学等への進学実績を高めるとともに、地域で活躍できる人材の育成に努めている。
- ② 明るく素直な生徒が多く、学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等様々な教育活動をとおして、自己肯定感を育んでいる。

(2) 生徒の望ましい在り方

- ① 自分で考え、自分で判断し、自分の行動を自分で決定し、責任を持つ力をつける。
- ② 規律ある高校生活を送る中で、将来、社会に貢献でき、心豊かな生き方ができるような資質を身に付ける。
- ③ 学ぶことの意義を理解し、授業を基本としながら、家庭学習習慣の確立を図り、学力の向上に努める。
- ④ 生徒会活動や部活動、学校内外の行事や体験活動をとおして、主体性、協調性、ボランティア精神を培う。
- ⑤ 自身の興味・関心、能力、適性を知り、進路目標を設定し、その実現に向け努力、挑戦し続ける。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 本校の使命を共有し、教育活動の全体像をとらえ、組織的・機動的に学校運営に参画する。
- ② 教材と指導法に関する研究に励みつつ、公開授業や授業評価等をとおして互いに高め合い、授業改善を進める。
- ③ 多様な進路志望に応じた指導法の研究を重ね、生徒一人ひとりの希望が叶うよう寄り添い支援する。
- ④ 学校の教育活動を保護者・地域・中学校等に積極的に広報し、地域から信頼される魅力ある学校づくりに努める。
- ⑤ 危機管理の意識を高め、不測の事態においても適切に対応できる実践力ある組織となる。
- ⑥ ワークライフ・シナジーを高めながら、教職員が互いに認め合い、支え合い、補い合うことをとおして、より効果的な教育活動を行う。

3 今年度の重点目標

- (1) 生徒が自己実現に向け、失敗を恐れることなく様々なことに取り組めるよう、教職員は安心・安全な教育環境を整える。
- (2) 生徒が学習意欲を高め主体的に学ぶ方法を見つけられるよう、教職員は様々なＩＣＴ機器を活用した評価の研究をすることにより指導方法の改善を進める。
- (3) 生徒が十分な情報の中から自分で考え選択し進路決定ができるよう、教職員はキャリア教育の充実に努める。
- (4) 教職員は生徒が生徒会活動・部活動・学校内外の行事・体験活動をとおして自己肯定感を高めることができるよう支援する。
- (5) 教職員が組織的、協働的に業務に取り組むことにより、教育活動全般の効果、効率を高める。
- (6) 教職員は、担当する教育活動の成果等について、学校ＨＰや印刷物等を活用して、保護者や地域に対し迅速かつわかりやすく発信する。

